

4 犯罪被害の防止

教科書 P64,65

ワークシート

ノート 2年 P22,23

◎読み取ってみよう。



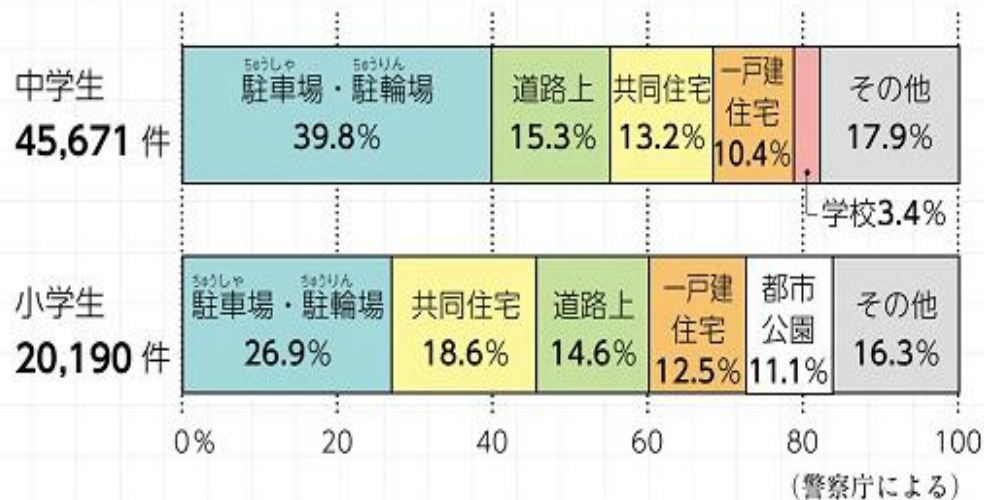
ウォームアップ

読み取る・考える

右のグラフを見て、①、②
について考えてみましょう。

- ① 中学生は、どんな場所で犯罪被害にあっているか。
- ② 小学生との違いはどんなところか。

●犯罪被害発生件数（場所別，2013年）



①犯罪被害の予測と回避

犯罪の起こりやすい場所や場面に近づかない

・暴行・恐喝・誘拐などの犯罪

⇒ 不審者対策

特に注意!

・インターネットや携帯電話を介したトラブル(出会い系サイト, 有害サイト)

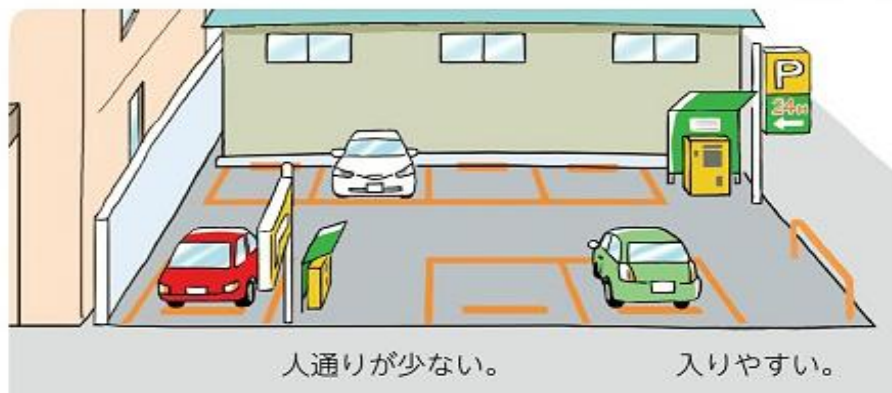
⇒ 使い方, 情報との付き合い方

資料① 犯罪が起こりやすい場所や場面

●犯罪が起こりやすい場所

- ・高い塀^{へい}や生け垣^{がき}が続く道
- ・人通りの少ない道
- ・入りやすくて見えにくい^{見えにくい}駐車場^{ちやうじや}・駐輪場^{ちゆりん}、公園
- ・街灯の少ない場所
- ・落書きやごみが放置されている場所
- ・放置自転車や路上駐車が多い道

建物や壁^{かべ}で周りから見えにくい。



●犯罪が起こりやすい場面

- ・音楽を聞いているなど、周囲への注意^{およ}が及ばない。
- ・エレベーターなどの密室で知らない人と二人きりになる。
- ・甘い言葉^{あま}で誘^{さそ}われる。



②防犯の取り組み

資料② 犯罪防止の取り組みの例

▼子ども110番の家 おおさか
(大阪府大阪市)



▶通報装置 (防犯灯)
の設置 やまと
(神奈川県大和市)



▼地域防犯パトロール ちがたやま
(千葉県流山市)



資料③ 犯罪防止のためのつながり



◎話し合ってみよう。



活用しよう

◆読み取る・判断する

次のそれぞれの場面では、どんな危険があるでしょうか。また、危険を回避^{かいひ}するためにはどうすればよいでしょうか。



保健は（**実践**）の学問！

知識として頭に入れてるだけでは**全く意味がない！**

今回の内容は、自分の生活の中でどんなところに関わりますか？また、生かされますか？